安全データシート

作成／改訂　2024 年 4 月 1 日

１．化学品及び会社情報

製品の名称	プレートサポータ第２液
整理番号	S30
会社	上野化学工業株式会社
住所	大阪府枚方市招提田近３－３－２
担当部門	開発グループ
電話番号	072-856-2281　FAX 番号　072-856-2272
緊急連絡先	072-856-2281
推奨用途	版面保護液
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

分類基準に該当しない

注意喚起語　－

危険有害性情報　－

注意書き　－

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分	CAS.No.	含有量 (wt %)	化学式	化審法官報公示整理番号	安衛法官報公示整理番号	化管法指定化学物質
水	7732-18-5	90%~95%	H_2O	—	—	—
水溶性高分子化合物	—	5%~10%	—	—	—	—
助剤	—	5%未満	—	—	—	—

４．応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類、靴等は速やかに脱ぐこと。

皮膚を多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激があるときは医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。気分が悪い場合は医師の診断、手当てを受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者は保護手袋、保護眼鏡などの保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし。

５．火災時の措置

適切な消火剤

情報なし

使ってはならない消火剤

情報なし

火災時の特有の危険有害性

煙には一酸化炭素や窒素酸化物が含まれるので吸入を避ける。

特有の消火方法

情報なし

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業は風上から行い、場合によっては空気呼吸器、防護服を着用すること。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

関係者以外の立ち入りを禁止する。

風上に留まる。低地から離れる。風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ漏れを止める。

不活性材料（例えば、乾燥砂又は土等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。

二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙等の禁止）。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

安全取扱注意事項

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取り扱いをしてはならない。

接触、吸入又は飲み込まないこと。眼に入れないこと。

取扱後は良く手を洗うこと。

接触回避

「１０．安定性及び反応性」を参照

保管

技術的対策

データなし

保管条件

酸化剤から離して保管すること。

容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。

容器包装材料

密閉できる容器を使用する。

８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度：未設定

許容濃度：未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には、洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸用保護具：保護マスク等の適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具：不浸透性手袋などの適切な保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具：安全ゴーグル等の適切な目の保護具、顔面用の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具：不浸透性保護衣等の適切な保護衣を着用すること。

９．物理的及び化学的性質

物理的状態

物理状態	液体
色	透明
臭い	ほぼ無臭
融点・凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	100℃
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界	データなし
引火点	なし

自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	6~7
動粘性率	データなし
溶解度	水に易溶
n-オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
比重（25℃）	1.02~1.05
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

１０．安定性及び反応性

反応性

データなし。

化学的安定性

予期される通常の保管および取り扱い条件では安定である。

危険有害反応可能性

データなし。

避けるべき条件

加熱、高温、日光

混色危険物質

酸化剤

危険有害な分解生成物

データなし

１１．有害性情報

急性毒性（経口）　分類できない

データなし、またはデータ不足

急性毒性（経皮）　分類できない

データなし、またはデータ不足

急性毒性（吸入）　分類できない

データなし、またはデータ不足

皮膚腐食性／刺激性　分類できない

データなし、またはデータ不足

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性　分類できない

データなし、またはデータ不足

呼吸器感作性　分類できない

データなし、またはデータ不足

皮膚感作性　分類できない

データなし、またはデータ不足

生殖細胞変異原性　分類できない

データなし、またはデータ不足

発がん性　分類できない

データなし、またはデータ不足

生殖毒性　分類できない

データなし、またはデータ不足

特定標的臓器毒性（単回ばく露）　分類できない

データなし、またはデータ不足

特定標的臓器毒性（反復ばく露）　分類できない

データなし、またはデータ不足

誤えん有害性　分類できない

データなし、またはデータ不足

１２．環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）　分類できない

データなし、またはデータ不足

水生環境有害性 長期（慢性）　分類できない

データなし、またはデータ不足

残留性・分解性

データなし、またはデータ不足

生態蓄積性

データなし、またはデータ不足

土壌中の移動性

データなし、またはデータ不足

オゾン層への有害性　分類できない

モントリオール議定書の附属書に列記されていない。

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関連法規・法令を尊守し、焼却により行うか、もしくは都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に危険性、有害性を十分告知した上で委託する。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

１４．輸送上の注意

国際規制

国連番号	非該当
品名	非該当
国連分類	非該当
副次危険	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当

MARPOL73/78 附属書Ⅱ及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質
非該当

国内規制

海上規制情報　船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報　航空法の規定に従う。

陸上規制情報　道路法、消防法の規定に従う。

特別な安全上の対策

移送時にイエローカードの携行が必要。

その他注意

輸送に際して、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

緊急時応急措置指針番号

非該当

１５．適用法令

消防法	非該当
ＰＲＴＲ法	非該当
労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当

１６．その他の情報

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。